

令和 8 年度あやせ E M S 監査報告書

- 1 実施日時 令和 8 年 5 月 2 1 日（木）から 6 月 1 9 日（金）まで
- 2 監査対象 書類監査：要綱第 7 条に規定する実行組織で環境行動計画及び第 4 次地球温暖化対策実行計画に個別で設定されている事業や法的要求事項がある実行単位（課）

現場監査：抽出した 8 実行単位

- 3 監査内容 あやせ E M S プログラムの運用状況の確認

- 4 監査結果 指導 0 件 観察 9 件 不適合 0 件

（別紙「部会別報告書一覧」参照）

- (1) 指 導：「綾瀬市環境マネジメントシステム運用要綱」に基づき運用されているが資料に不備がある、5 S の一部不徹底
- (2) 観 察：「綾瀬市環境マネジメントシステム運用要綱」に基づき運用されているが E M S プログラムへの記載漏れがある、前年度一部未達成、5 S の多くが徹底されていない
- (3) 不適合：「綾瀬市環境マネジメントシステム運用要綱」に基づいて運用されていない、5 S の不徹底、法令違反、前年度全部未達成

5 講 評

- (1) 本年度監査では、観察が 9 件となりました。
- (2) 令和 7 年度の観察項目には、一部令和 6 年度と同様の項目もありますが、令和 6 年度の観察項目から達成項目になったものも複数あり、各実行単位での取り組みの改善が確認できました。
- (3) 二酸化炭素排出量について、令和 6 年度と比較して増加しています。
主たる要因は、東京電力エナジーパートナーの二酸化炭素排出係数が前年度と比較して上昇したことに加え、新たに契約した電力会社の二酸化炭素排出係数が前年度より大幅に高かったことによるものです。
- (4) 二酸化炭素の排出量を減少させていくためには、引き続き高効率設備への更新や再エネ設備の導入の推進に加え、再エネ電力の調達を検討していく必要があります。

令和 6 年度総排出量	7, 140, 778 kg-CO ₂
令和 7 年度総排出量（暫定値）	7, 719, 887 kg-CO ₂
令和 1 2 年度総排出量目標	3, 822, 000 kg-CO ₂